

令和3年度中央地区社会教育の重点

1 学びを支える体制の整備

(1) 地域の生涯学習・社会教育を支える体制の整備

- 教育委員会事務局に社会教育主事を配置する。
- 様々な事業や取組等の調整を図る統括的な役割を担う地域人材を委嘱する。

(2) 各種研修による職員の資質能力の向上と地域人材の育成

- 社会教育主事講習に職員を派遣し、新たな人材育成を進める。
- 関係機関が実施する講習や研修会へ積極的に参加する。
- 地域における事業や取組等で活躍できるボランティアの育成を図る。

(3) 部局・課所等を横断した連携・協働体制の確立

- 講座や事業を他課や民間機関等と合同で企画したり、運営したりする。
- 地域おこし協力隊等との連携を進める。

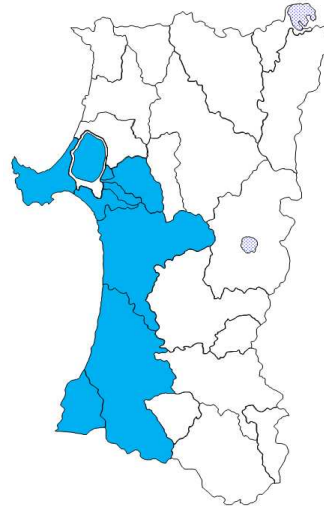
2 学びを進める計画の遂行

(1) 評価に基づく計画の運用

- 中長期的な生涯学習・社会教育計画に基づく評価の視点を明確にする。
- 事業評価の結果を施策や事業の改善に生かす。

(2) 評価指標と数値目標を取り入れた評価システムの整備

- 施策や事業の自己評価を実施する。
- 施策や事業の外部評価を実施する。
(利用者・公民館運営審議会委員・社会教育委員等)



学校との連携

「学校を核とした地域づくり」
「地域とともにある学校づくり」
の実現に向けて

◇地域と学校の連携・協働の充実

- ◎幅広い地域住民等の協力を得ながら、学校における教育活動の充実を図る。
- ◎保護者、地域住民、教職員等の多くの関係者で「育てたい子どもの姿」を共有する。
- ・地域学校協働活動
- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり

3 学びを広げる学習機会の充実

(1) 住民の願いに応える学習の場や機会の創出

- 住民のニーズを反映した新たな学習機会を創出する。
- 参加対象やターゲットを絞り込んだ事業や講座を実施する。
- 各種媒体を活用し、効果的に情報発信をする。

(2) 地域課題や現代的課題を意識した学習機会の提供

- ICTを活用した講座を開催する。
- 地域防災に関する講座を開催する。
- 障害者の生涯学習への取組を進める。

(3) 他地域との交流・連携

- 他市町村の生涯学習奨励員同士の交流を促進する。
- 他地域と講座情報を共有し、相互参加を進める。
- 他地域と講師情報を共有し、講師の有効活用を進める。

4 学びを生かす地域学校協働活動の推進

(1) 地域学校協働活動推進員を核とした協働活動

- 地域学校協働活動推進員による日常的なコーディネート活動を展開する。
- 地域の人材を活用し、多様な学習活動を実施する。

(2) 地域の特性を生かした放課後活動

- 地域の素材を生かした多様な体験・学習活動プログラムを提供する。
- 安全・安心に配慮した活動環境の整備に努める。

(3) 地域と共に進める家庭教育支援活動

- 住民のニーズに応じた相談活動や機会を捉えた講習を実施する。
- 地域の実情に応じた家庭教育支援チームの設置を進める。

(4) 子ども読書活動推進計画に基づく読書活動

- 読書ボランティアの養成を進める。
- 公立及び学校図書館の充実を図る。

◇体験活動の充実

- ◎ 地域を素材とした体験活動や学習活動についての内容を把握し、参加を奨励する。
- ◎ 豊かな心や感性、創造性を育むため、優れた伝統文化に親しみ体験できる機会を設定する。

- ・ 校外体験学習・職場体験
- ・ 教育施設等のセカンドスクールの利用
- ・ 地域の行事

◇読書活動の充実

- ◎ 読書ボランティアを活用したり、読書関連イベントを開催したりするなど、全校体制で読書活動に取り組む。
- ◎ 読書環境の充実を図るため、魅力ある学校図書館づくりを進める。

- ・ 読み聞かせ活動
- ・ ビブリオバトル
- ・ 学校図書館活性化、環境整備
- ・ 公立図書館と学校図書館の連携